

事務事業名		高齢者はり・きゆう・マッサージ等施術支援事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	2 やさしくふれあいのある健康福祉づくり					担当組織	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課
	政策	3 助け合い生きがいを実感できるまちづくり					担当係	高齢福祉係	担当課長名	片柳利幸	
	施策	1 豊かで健やかな長寿社会の実現					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 自立支援サービスの推進					実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	4828	一般	3	1	3	はり・きゆう・マッサージ等施術支援事業					
	事業計画	単年度繰り返し	事業期間	平成2年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市高齢者はり・きゆう・ マッサージ費助成事業実施要 綱				
		事業区分		市単独事業・国県補助事業		市単独事業			市単独事業		
		任意的事業・義務的事業		任意的事業			任意的事業				
		実施方法		一部委託			一部委託				
		事業分類		現金・現物給付事業			現金・現物給付事業				
		リーディングプロジェクト		該当なし			該当なし				
		市長マニフェスト		2-9			2-9				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)

事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)	平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
保険対象外のはり・きゆう、マッサージ、指圧の施術を受ける場合、助成券を交付する。800円の助成券を一人年間6枚交付する。	はり・きゆう、マッサージ、指圧の施術を受ける場合、助成券を交付した。対象者は70歳以上の方						
	活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	交付人数	人	2,042	2,137	2,200		
	利用枚数	枚	1,712	1,509	1,600		
	交付枚数	枚	12,252	12,822	13,000		

② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)

70歳以上の高齢者	対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
	70歳以上の高齢者数	人	22,738	23,378	24,018		

③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)

はり・きゆうなどの療法を利用し、健康的な生活を送るとともに、自立した在宅生活をしてもらう。	成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	利用枚数/交付枚数	%	14.0	11.8	12.3		

④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)

自立した在宅生活を送れるようにする。	上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
	ふれあいサロン参加者数	人	61,082	62,341	66,300		
	老人福祉センター利用者数	人	148,959	163,843	144,000		

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円	439	474						
	一般財源	千円	1,050	856	2,065					
	事業費計(A)	千円	1,489	1,330	2,065	0	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			消耗品費	5	消耗品費	5	消耗品費	23		
			印刷製本費	88	印刷製本費	92	印刷製本費	138		
電算委託料			26	電算委託料	26	電算委託料	32			
助成費			1,370	助成費	1,207	助成費	1,872			
人件費	人	1	1	1						
のべ業務時間	時間	100	100	100						
人件費計(B)	千円	389	394	394	0	0				
トータルコスト(A)+(B)	千円	1,878	1,724	2,459	0	0				

事務事業名	高齢者はり・きゅう・マッサージ等施術支援事業	担当部	健康医療部	担当課	いきいき高齢課	担当係	高齢福祉係
-------	------------------------	-----	-------	-----	---------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	平成2年から高齢者の健康維持のため開始された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	高齢者人口が年々増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	高齢者が体調を維持するとともに、健康への関心を高め、知識を深めることは、心と体の健康づくりを目指した政策体系と結びつく。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	高齢者が健康で活動的であるために必要であり、妥当である。個人情報を扱うため、市民団体への委託は難しい。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	70歳以上の方が、はり・きゅう・マッサージの施術を受けることで、健康増進に繋がり、また医師の治療の補完的な治療としても必要な事業であり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	助成券は必要とする利用者に充分に行き届いており、健康づくり事業としての成果は出ている。利用者数に大きな変動がなく、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	すでに助成券の枚数と助成金額は見直し済みである。人件費についても、必要最小限の人数で対応しているため、削減できない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？ 事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	70歳以上の方の健康増進を図るために診療費の一部を補助するものであり、受益者負担は適正である。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)			
県鍼灸師会などから存続の要望が出ている。また、わずかの助成ではあるが利用者のニーズがあり、廃止は難しい。				

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
現状維持(従来通り実施)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																						
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		○	×																			
	低下		×	×																			